

- ◆令和3年度高山市介護保険事業特別会計補正予算第1号 **約1億2,919万円**
- 高額介護サービス費・在宅介護支援事業費の増額、介護給付費負担金等の精算還付金

- ◆令和3年度高山市水道事業会計補正予算(第1号)

有収率向上対策(漏水箇所修繕)

《収益的支出》 **846万円**

問 どのような手法で漏水調査を行っているのか。

答 毎年、音聴棒により調査範囲を決めて集中調査を行っている。

問 衛星データとAIを用いた漏水調査を取り入れている自治体があるか。

答 研究は行っている。人件費削減等に効果があるか研究を続けていく。



有収率とは

給水する水量と料金として収入のあった水量との比率をいいます。有収率の高低は直接水道事業の経営に影響するので、これを高いレベルに維持することが求められます。

宮導水路耐震対策事業

《資本的支出》 **1,500万円**

問 工事の進捗状況はどうなっているか。

答 11月末で進捗率は75%。予定通り進んでいる。

- ◆令和3年度高山市下水道事業会計補正予算(第1号) **770万円**

- 原油価格上昇に伴う燃料費の増額

議員発議

「産業廃棄物最終処分場計画が与える影響は」 高山市議会に産業廃棄物最終処分場計画調査特別委員会を設置

■設置に至る経緯

平成30年9月11日、事業者からの荘川町六厩地内における産業廃棄物最終処分場事業計画書を県が受理、10月3日には、事業者からの開発構想届を市が受理したことを受け、12月には、荘川地区連合町内会、荘川区長寿会等から、高山市議会に対し産業廃棄物最終処分場の建設計画に反対する陳情書が提出されました。

高山市議会では、産業廃棄物最終処分場が環境や産業、人体など非常に広範囲にわたって与える影響を危惧し、同年12月21日には、岐阜県知事に対し、産業廃棄物最終処分場の設置に反対する意見書を提出し、今日まで所管である総務環境委員会でこの問題に鋭意取り組んできました。

そうした中、令和3年12月3日に地元の六厩産廃処分場計画対策委員会の委員長から建設阻止に向けた議会のさらなる取組を求める要望書が提出されたことや、白川村議会に加え、富山県南砺市、砺波市の議会でも建設反対の意見書を岐阜県知事に対し提出することが検討されるなど、近隣の自治体議会でも動きが出てきている状況などを踏まえ、当該産業廃棄物最終処分場計画を特化して専門的に取扱うべきとの判断に至り特別委員会を12月20日に設置することにしました。

■委員名

- 委員長 水門 義昭
- 副委員長 中谷 省悟
- 委員 石原 正裕・西本 泰輝・沼津 光夫
山腰 恵一・倉田 博之・松山 篤夫
中田 清介

■委員会の任務

荘川町六厩で計画されている産業廃棄物最終処分場の影響について調査等を行う。客観的な調査を積み上げて議会として意見表明を行う。

■委員会の継続期間

委員会の任務が完了するまで存続する。



特別委員会設置後に六厩産廃処分場計画対策委員長と面談(R3.12.20)